

お天気解説 アキラのズバツと

木材が乾き、風が吹くと火災リスクが…↑

令和8年2月6日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

2月に入り1週間。立春を過ぎてから暖かさを感じるこの頃ですが、1月に入って4週間分の降水量は東京都心では7.5ミ、そして、都内の他のアメダス観測点でも0~5ミです。江戸川臨海でも前々号から変わっていません。降水量の著しく少ない傾向は太平洋側の各地でも続いており（図1）、この影響が心配されます。

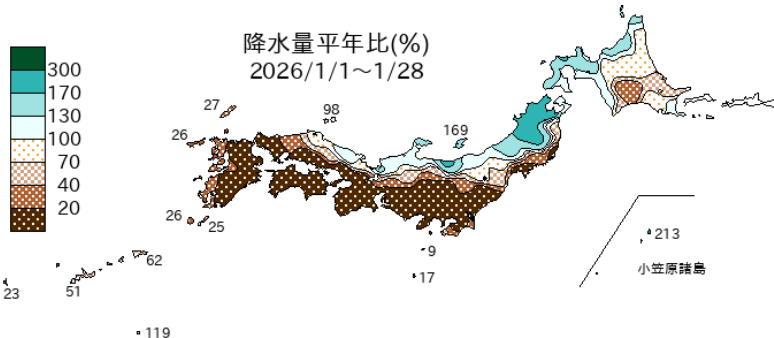


図1 降水量の平年比(2026年1月1~28日) 気象庁HPより

昨年からの降水量の少なさが、野菜の収穫にも影響しているようです。大根やキャベツなどの野菜は雨が少ないため、生育が進まず小さいものも多いそうです。

東京都心における、木材の湿り具合を示す「実効湿度」について昨年同期と比較してみました（図2）。昨年の1月下旬は50%を超えていましたが、今年は30%台が続いており、林野

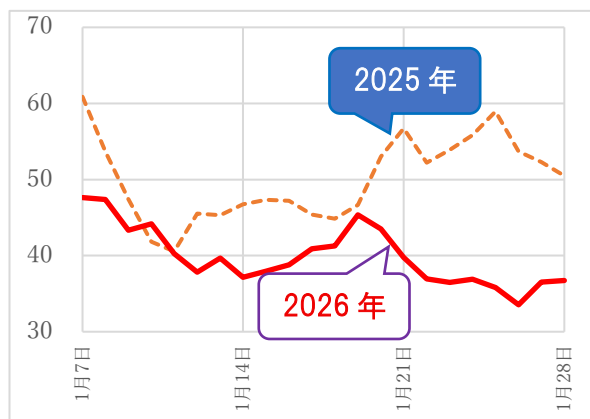


図2 東京都心の実効湿度(2025・26年1月)

火災と同様、木造家屋は火災が起こりやすい状態が続いています。江戸時代に起きた大規模な火災（江戸三大火）は1~4月に発生しましたが、空気が乾燥しているところに、風が強く吹いて火災が大きくなったようです。春先は、南岸低気圧ならまとまった雨や雪になりますが、日本海低気圧なら春一番などの強風になるので注意が必要です。

東京地方の週間天気予報

（気象庁HPから抜粋）

週末は天気がかずれ気温が下がりそうです。雪が降り、足元滑りやすくなるかもしれないのでご注意ください。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。

2026年02月06日11時 気象庁 発表				
日付	今日 06日(金)	明日 07日(土)	明後日 08日(日)	
東京地方	晴時々曇 	曇 	曇一時雪 	
降水確率(%)	-/-/0/0	10/20/30/20	50	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	16	8	6 (4~7)
	最低	-	3	0 (-2~2)